

より多くのなかまを職場で迎えよう

2021年3月20日号  
第210号

毎月2回5日・20日発行

発行所

東京都千代田区霞ヶ関2の1の3 国土交通労働組合  
電話(03)3580-4244 F A X (03)3593-0359  
URL : http://kokkoroso.or.jp/  
発行者: 安藤 高弘  
1部20円(組合員の購読料は組合費に含む)



2021年3月20日 国交労組 第210号 (通巻1366号) 昭和37年12月3日 第三種郵便物認可

# 国交労組

## 新たな峰をめざして一人ひとりが声かけを実践

### 不安を抱える新規採用者に頼れる労働組合を見せよう

4月、全国の職場に1000人を超える多くの新規採用者が配属されます。2月に開催した中央委員会では、全ての該当者に対して、「声かけ」を行うことを確認しました。

慢性的な人手不足、長時間労働の蔓延、とりわけ昨今は、多くの職場で出勤抑制による在宅勤務が続けられており、従来に比べて職員同士のコミュニケーションは減少しています。このような職場環境のなか、配属された新規採用者が、不慣れなまま置き去りとなり、一人で悩みを抱えこんでしまう状況が懸念されます。公務員人生の長い道のりを、なにかまとしてともに歩みはじめる新規採用者のみなさんが、不安なく公務員生活をスタートできるように、「声かけ」を確実に、「頼れる組合」があるということを、組合員一人ひとりが自信を持って伝えていきましょう。

#### 声かけについて

「どう声をかけたらよいの?」という声を多くいただきますが、基本的に立ち回りコミュニケーションを増やすことに尽きると考えています。コミュニケーションの基礎ともいわれている「傾聴」は大切な要素です。日常的な趣味の話などからはじまり、何か困っていることはないか、はじめての仕事はどうか、疑問に思うことはないかなど、「聞く姿勢」で「声かけ」を行うことが大切です。相手の話を聞くことによつて、私たちが気づかされることも多々あります。「傾聴」は、人と人をつ

なぐだけでなく、労働組合 身近に感じてもらえるので、重要な活動の一つでもあります。「声かけ」を分工会 私たちからの一方的な説明で終わらせたいために、明で終わらせたいために、も、単発ではなく、継続して丁寧にとりくむことが大切で、声をかける際には、年齢が近かったり、直属の先輩後輩の関係であれば、声をかけられる方にとつても労働組合を

#### 何を伝えたら?

私たちの仕事は一人でできるものではありません。チーム・課・事務所が

#### 楽しさも伝えよう

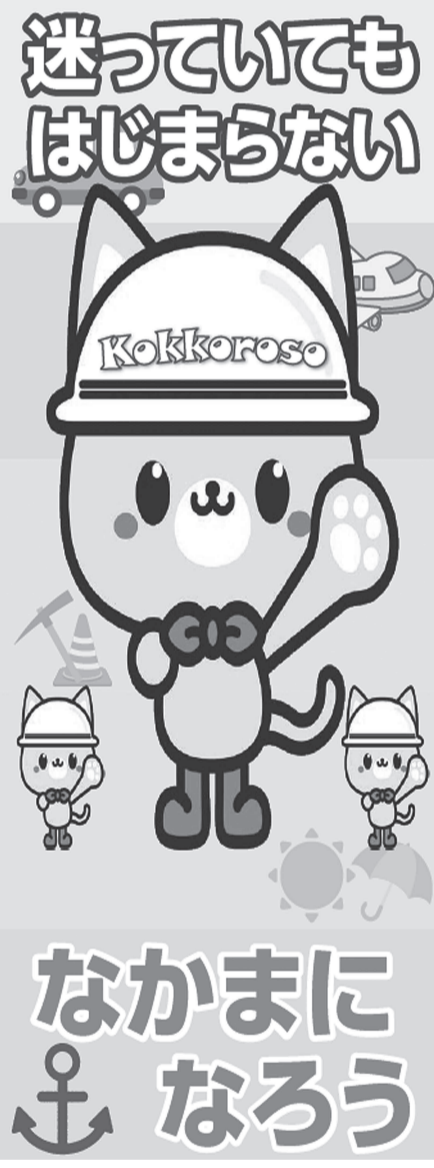
一体となって力を合わせることで業務は成り立ちます。職場で悩んでいる人、困っている人に寄り添って問題を解決し、職場のなかま同士で支えあいながら業務を遂行することが求められます。私たち国土交通労働組は、誰一人置き去りにせず、より良い職場環境をめざし、その中心的な役割を担っていることを伝えましょう。

現在、コロナ禍により多くの大学ではオンライン授業が導入されています。授業以外での会話が無く、学生同士のつながりが希薄となったため、一人悩む学生の実態をとり上げたニュースが流れ

#### 組織拡大を旺盛にとりくもう

私たちは、労働組合が職場の環境を良くする運動をしていることを示し、しっかりと導くためにも、説明することが重要ですが、役員だけの行動にしないこともポイントです。同じ内容でも、むしろ世代が近く、役員ではない人からの言葉のほうが心に響くかもしれません。そのため、あらかじめ分工会などで話し合い、特に加入して欲しいという声かけは、担当者を決めておいたほうがよいでしょう。

私たちの声に耳を傾けてもらうためにも、日々の生活のなかで信頼関係を築くことが重要です。様々なとりくみを組み合わせ、一人でも多くのなかまを増やしていきましょう。数は力です。



政府は、今国会でデジタル改革関連の6法案を束ねる一括法案の審議・成立を狙っている。従来のIT基本法に替わるもので、その内容は国民生活にとつて危険な権限強化が含まれる▼法案の主体となるデジタル庁新設は、首相がトップとなり直轄官庁として省庁横断的な統合調整、勸告権の強い権限で官邸主導が強まる危険性がある。また、デジタル監など特別職に民間人を採用して公務員用であれば企業優先の施策や秘書義務への懸念も高まるだろう▼関連法では個人番号(マイナンバー)の情報データ一元化で政府・警察等からの国民監視が強化される懸念が強まる。これまでも社会保障、税、災害対策分野の確認等で利活用される情報は各機関の分散管理で保護機能があつた。今後は、国が標準化する個人情報管理システムを一括管理し、加えて預貯金、学歴、就業歴など各種情報が管理下とされ、了解の無いまま個人情報掌握される▼これまでにも民間等で情報流出が頻繁に起こるなかで国の一括管理を信用できるだろうか。法案審議に注視し、自分、家族、子どもたちの将来を考える重要なときだろう(K・Y)